

令和8年度 荒土地区市長と語る会 議事要旨

■日時 令和8年5月19日（火）午後7時00分～午後8時40分

■場所 荒土まちづくり会館

■出席者 51名

1. 市政報告会

2. 意見交換会

1) 令和4・5年の大雨災害について、その際の職員の対応について

意見	<ul style="list-style-type: none">・令和4年5年の災害で、皿川や日谷川が氾濫し、浸水被害や法面が崩れる被害があった。令和4年の被害箇所は修復したとたん、工事検査が終わる前に同じ箇所が被災した。農地で土砂が入った箇所はしばらく復旧されず、耕作ができないのでイノシシ被害もあり、法面がまた崩れてしまった。令和5年の日谷川の被害の箇所はまだ補助金が見つからず復旧されていない。市の予算で対応いただくよう検討いただきたい。・令和5年の際は市の担当者が現地に来られたが、農業や山林で担当が違い、この箇所は「うちが担当ではない」という話もあった。災害時には是非ワンストップで対応いただける体制づくりをお願いしたい。
市長	<ul style="list-style-type: none">・令和4・5年の災害において復旧工事は完了していると聞いているが、持ち帰ってしっかり対応したい。・ご迷惑をおかけした。災害に限らず、担当ではないという職員には平常時から指導しているつもりが、来ていないことが分かったので、担当課にもしっかり伝えたい。

2) 115奨学金について

質問	<ul style="list-style-type: none">・115奨学金について、勝山市に住んでいて、勝山市から通う子どもだけが対象になるのか、住民票が勝山市で県外に通う子どもでも対象になるのかお聞きしたい。
市長	<ul style="list-style-type: none">・現在、制度設計をしているところだが、県外に通う方も対象になる。ただ、3月末に勝山市に住民票を移してきた市外の方は対象外となるようにする。今日現在で、勝山で暮らしている子は、住民票を市外へ持って行ったとしても、保護者の方が勝山で生活していれば対象となるようにしたい。

3) 中学校跡地の活用について

質問	新中学校の開校に伴い、既存の中学校の活用で決まっていることがあればお聞きしたい。未定であれば案をお聞きしたい。
市長	現在の3中学校の土地は9割以上が借地で、活用しようにも何もできないので、まずは買収を進めているところ。それにより市で公共施設に転用することは考えていないが、活用案は内部で協議している。意見としては、陸上競技場やサッカーができるグラウンド、またはモルックのような屋外競技が屋内でできるような施設など。他にも宅地が不足しているので分譲地にする案や、校舎を活用したいという事業者の要請もある。整理をしながら議論しているところである。ただ、人口減少もあり、避難所は充足しているということから、体育館を避難所のためだけに残すということは現時点ではない。

4) モルックの普及について

意見	・モルックの勝山市長杯の開催を検討いただきたい。開催にあたっては、オープン参加として、ゆくゆくは市外や県外の人にも多くきてもらい、勝山のPRにもなるような大会にできたら良い。モルックそのものの発展と、勝山全体の発展につながる良いチャンスだと思う。
市長	マレットゴルフやゲートボールでは市長杯があるので、前向きに検討したい。また、モルックができるような体育館を中学校跡地利用の中で考えていく。モルックの普及についてお手伝いできることがあれば、健康体育課も含めて一緒に協議したい。

5) 草刈隊の設置について

意見	農業経営をしているが、草刈に関して苦労している。ぜひ勝山市で草刈を担ってくれる組織を作って作業をしていただけるとありがたい。設置について検討いただきたい。
市長	他市町で実施しているところがあるので、ケース検討が必要だと考えている。夏場の草刈りや、バスの運転、屋根雪下ろしについても市の職員が兼業としてできないかということの中でも検討したい。ご意見をいただいたことを持ち帰り、農林の課題としてしっかり対応したい。

6) ジビエについて

質問	勝山はアユやサーモンなどの魚は頑張っているが、獣害対策でジビエをもう少し活用できないかと考えていた。実際には難しいというのは理解しているが、例えば猟友会の数が少ないのであれば資格取得の支援をしたり、ジビエの店の開業に支援があると良いのでは。
市長	猟友会への資格免許の支援は実施している。ただ、猟友会の人数は不足しているのは事実。特にクマを撃てるかどうかが重要で、相当な経験が必要になっている。今年度からは資格取得については全額補助、銃の購入の4分の3の費用の補助を行っている。ジビエに関しては、豚や牛は流通体制がしっかりしている一方で、ジビエは需要と供給が不安定のため生業として成り立ちにくい。クマの猟期が短いこともハードルになる。また、野生動物の食肉加工所が県内には嶺南に一か所しかないこともそういった難しさがあるのだと思う。ただ、ご意見としてお伺いし持ち帰りたい。
課長	市の職員の資格取得についても声掛けをしている。少しでも猟友会のメンバーが増え、将来的に安全で安心して暮らせるように、制度の周知に関してもしっかり対応していきたい。

7) 荒土公園のベンチ整備について

意見	モルックを通して楽しく活動している。活動の拠点である荒土公園にベンチが不足しているので、整備いただけるよう検討いただきたい。
----	--

市長	<p>帰ってすぐに検討するが、ぜひ、にこにこ地域づくり交付金を活用いただきたい。おひとりの方ではなく、これだけ大勢の地域の方が荒土で普及させたいと頑張っているので、ぜひ交付金を積極的に使ってほしい。</p>
8) 大学生の地域への参画について・エコミュージアム協議会について	
意見 質問	<ul style="list-style-type: none"> ・県立大学恐竜学部生を地域に巻き込んだ事業が何かできないか。恐竜ジュニアアカデミーにも大学生が参加されると聞いたので、どんどん市の事業にも参画いただいてはどうか。 ・エコミュージアム協議会がなくなると聞いたが、実際はどうなるのか。
市長	<p>・大学生の参画については同じ思いではあるが、中には静かに勉強に集中したいのに、地域活動に追われることを心配している方もいる。勝山市は大学生に慣れていないので、交流に敏感になっているが、適切な距離感が大事だと思っている。11月7日には勝山キャンパスで学祭をしたいと聞いている。それには市民の人にもたくさん来てほしいとも聞いているので、それをきっかけにしても良い。ただ、積極的な学生もいれば消極的な学生もいるので、あまりプレッシャーにならないようにしたい。</p> <p>・エコミュージアム協議会については、平成15年から地域でのまちづくり活動に取り組んできた。その後ジオパークの取組みも進めたが、ジオパークを辞めたからエコミュージアムも無くなるかといったら別の話である。今後のまちづくりのあり方としては、恐竜や恐竜化石を中心に日本中とつながり学習や研究の聖地にしたいということ、そしてにこにこ地域づくり交付金等を通して、各地区の特色やまちづくりをバックアップしたいということ。この2本立てでやっていきたい。エコミュージアム協議会がなくなるということを聞いているわけではないが、しっかり地域活動を支援していきたい。</p>
9) 空き家対策について、恐竜博物館があることの税収について	
意見 質問	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家に関しては、持ち主が市外へ出て行ってしまくと管理が行き届かない。区長を先頭に村を盛り上げていきたいとは思っているが、空き家があることでうまくいかないこともある。空き家対策を行政がもっと主導して、地権者や地主に強い言葉をかけてほしい。 ・恐竜博物館があることで勝山市への税収はどれくらいあるのか教えてほしい。
市長	<p>・空き家はどの地区でも大きな問題である。市の方で空き家調査を行ったので、区長にフィードバックして確認にご協力いただきたい。一番は危険な空き家かどうかであるが、まずは対象者に話をして対応する。利活用可能な空き家は空き家バンクに登録しまわしていく。制度の中で、住宅用地の税金の軽減措置があるが、空き家を放置している場合はそういった措置をなくすことを検討している。他にも個別のケースについてはしっかりと聞いて対応したい。</p> <p>・税収についてははっきりとは言えないが、以前、長尾山をはじめとした観光地にかけていた指定管理料は今ほとんど払っていない。市で持っていた施設を民間に売却し、固定資産税が入ってきているところも。また長い協議の中で、恐竜博物館内の飲食物販収益の5%が市に入るようになっている。観光が赤字にならないようにはしている。</p>